

# 区議会だより

発行/江戸川区議会  
江戸川区中央1-4-1  
ダイヤルイン 5662-6736  
<http://www.gikai.city.edogawa.tokyo.jp/>

232号の  
主な記事

- 第4回定例会概要、新年のあいさつ.....1 ページ
- 議案、請願・陳情の処理状況.....2 ページ
- 代表質問、一般質問、議員提出議案の概要...3~6 ページ
- 目で見える江戸川区議会の1年間.....7 ページ
- 江戸川区議会会派等別議員一覧.....8 ページ

## 第4回定例会日程

- 11月27日(火).....議案上程、委員会付託
- 29日(木).....代表質問
- 30日(金).....一般質問
- 12月 4日(火).....議案審査
- 5日(水).....請願・陳情等の審査
- 12日(水).....委員会報告及び表決

## 平成30年第4回定例会

# 補正予算を含む議案20件を可決

### 「固定資産税及び都市計画税の減免措置の継続に関する意見書」を含む意見書2件を可決

平成30年第4回定例会は11月27日から12月12日までの16日間の会期で開きました。

この定例会には区長から、小岩区民館の空調設備整備経費などを計上した補正予算を含む18件の議案と報告1件が提出されました。

これらの議案はいずれも原案のとおり可決しました。

また、議員から「固定資産税及び都市計画税の減免措置の継続に関する意見書」を含む2件の議案を提出し、それぞれ可決しました。意見書は関係機関に送付しました。

この定例会の会議録は、2月頃にできあがります。会議



亥の干支鈴 (希望の家利用者作成)

録の詳細は、区議会ホームページ、お近くの図書館、または区議会事務局をご覧ください。

## 新年を迎え皆様のご健康とご多幸を心からお祈りいたします



ふじさわ進一議長

区民の皆様には健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

平成31年の新春を迎え、江戸川区議会を代表し、新年のご挨拶を申し上げます。

区議会は、今春改選期を迎えます。ここで、過去4年間の活動を振り返りますと、議会での様々な議決や同意、そして議会内外での活動を行ってまいりました。

議会内での主な活動としましては、都内の自治体で初めて制定した「手話言語条例」をはじめとした条例の制定や改廃、毎年度の江戸川区予算など323件の議案を議決しました。また副区長や教育長の選任など11件の同意、さらに「固定資産税及び都市計画税の減免措置の継続に関する意見書」など、区民生活に直結する内容について江戸川区議会として、国や東京都への要望や決意表明など40件を発議しました。



伊藤てる子副議長

議会外においても、地域の皆様を中心に全区を挙げて行った「自転車盗撲滅キャンペーン」や各関係機関と連携した江戸川区総合防災訓練など、区民の安全安心のための活動も積極的に行いました。

そして、友好都市である山形県鶴岡市や長野県安曇野市との交流、オーストラリア・セントラルコースト市との姉妹都市盟約の再締結など、国内外の皆様との友好を深めました。こうした交流は、区民文化の発展に大きく寄与するものと考えています。

これらの活動は、いずれも、日頃より区民の皆様幅広いご意見をいただきながら、皆様のご理解とご協力のもとに行われたものであり、過去を振り返って、この場をお借りして、心から感謝申し上げます。

また、年頭に当たり、今後を思いますと多くの行政課題が待ち構えております。昨年より、「新庁舎建設検討特別委員会」を設置し、長年の懸案であった新庁舎建設と現庁舎跡地活用の検討を始めたところではありますが、区議会・区民の総意で所有地の取得を要望した結果、区として具体的な検討に着手できる状況が整いました。その他にも児童相談所の開設、大型公共施設の老朽化対策、熟年者・障害者施策の充実、総合的な子どもの貧困対策、学校教育環境の充実など緊急かつ重要な課題が山積しています。これらの課題に対し、区議会は様々な機会をとらえ、区民の皆様の声聞きながら、44人の議員が70万区民の幸せのため、子どもたちの明るい未来のため真摯に努力を積み重ねてまいります。

今後とも、区民の皆様の変わらぬご理解とご支援をお願い申し上げますとともに、ご健康とお幸せをお祈りいたしまして、年頭のご挨拶といたします。

平成31年 新春

江戸川区議会 議長 ふじさわ 進一  
副議長 伊藤 てる子

議案等の概要と結果 (○…賛成、×…反対)

会派名：自民…自由民主党、公明…公明党、区民…えどがわ区民の会 共産…日本共産党、江戸…江戸川クラブ、生ネ…生活者ネットワーク (議長を除く 計43人)

Table with columns: 件名, 概要, 自民, 公明, 区民, 共産, 江戸, 生ネ, 無所属, 賛成, 反対, 結果. Includes sections for 区長提出議案 and 議員提出議案.

皆さんから提出された請願・陳情

Table listing newly accepted requests and petitions, including item numbers, descriptions, committees, and dates.

Table titled '今回の定例会で結果が出された請願・陳情' showing results for requests and petitions in the current regular meeting.

採択に賛成…○、反対…×

## 区政への質問

11月29日に代表質問、30日に一般質問が行われ、区政全般の課題について活発な論議が展開されました。ここでは質問と答弁の要旨を掲載します。

QRコードから各質問者の質問映像をご覧になれます。

### 代表質問

#### 本区の地域力と健全財政の継承について



自由民主党  
須賀 精二



○ 二度の財政危機を乗り越え、健全財政構築に全力を注入することで将来世代の負担を着実に減らし、区民生活の向上を図った多田区長は、水と緑の環境づくりを通じて活発なコミュニティ活動を支える区民主体のまちづくりも進めた。「地域力」という言葉で、すべてが表現できる地域コミュニティの素晴らしさも多田区長の情熱と使命感のたまものと高く評価する。2020年度に東京オリンピック・パラリンピックが開催されるにあたり、来期も引き続き70万区民の先頭に立っていただきたいが、区長の決意を。

○ 区長という大変重い役職を預かり5期20年を迎えることができたが、多くの皆様に支えられて今日まで務めさせていただいた。この辺りで然るべき方にバトンを渡したいと思い、選挙に出馬しないことを心に決めたのでご理解願いたい。

○ 区議会では今年度「新庁舎建設検討特別委員会」を設置し、勉強会を重ねているところである。江戸川区の新たな顔となり、70万区民の生活を支える拠点としての新庁舎建設について、今後どのように進めていくのか。



#### 新庁舎建設について

○ 用地取得について、都知事から非常に希望的な話をいただいた。今後、区議会、学識経験者、地域の方に入っていただき、基本構想・基本計画の策定に取り組んでいきたい。

○ 幼少期を小岩で過ごした角野英子さんが日本人としては3人目となる「国際アンデルセン賞」の作家賞を受賞された。「江戸川区区民栄誉賞条例」制定とあわせ、角野さんの世界観とご功績を後世に残すとともに、数々の名作に触れることのできる取り組みについても模索し、角野さんに相談しているとのことだが、構想の内容、想定されるスケジュール等について。

○ 多くの児童文学に係る資料、書籍、その他を収集し、いわゆる文学館的なものを作ってはどうかと相談し、場所や作り方などをお互い研究するというのを快く受け入れていただいた。今後、議会の皆様にもご相談し、区民の皆様にもご理解いただきたい。

○ 小松川ジャンクション整備後の高架下については、地域での活用に適しているが、これまでの例からすると、駐車場や企業へ貸与されることが多い。地域の要望に応え、少なくとも

オープンな地域の共用スペースとして開放し、地域の方々が主体的に考え、参加できる体制づくりを検討していただきたいが。

○ 小松川ジャンクションの高架下の部分については、従前、児童遊園があったが、地元から公園を元に戻してほしいという要望をいただいている。地域の皆さんの声を聞きながら、良好な環境につながる公園の整備を行いたいと考えている。

○ 受動喫煙防止条例について。

①路上・公園等における屋外喫煙場所については、必要に応じて維持と整備を。喫煙場所は、人の動線から離れた場所へ喫煙可能なエリアを明確にするなど、周囲の環境に配慮した場所に設置を。

②区役所本庁舎内の喫煙所設置は、本庁舎敷地内に2019年8月末までに設置を。

③国や都の法令、条例が2020年4月より全面施行になることから、施行前に区民の皆さんや事業者への理解促進を。

○ ①屋外の喫煙が増える懸念を認識しているが、屋外においても受動喫煙の害を減らしていくべきである。今後の実態等を見ながら、屋外喫煙所の整備も含め検討していく。

②都が制定する屋外の喫煙所の基準に則って庁舎敷地内の設置の検討を進めたい。

③事業者へは、説明会の開催、コールセンターの設置、アドバイザーの派遣等を通じ周知していく。また、区民へはチラシの配布、啓発看板の設置等の周知・啓発に努める。

#### 小・中学校体育館へ、冷暖房設備の早期整備を!



公明党  
うざわ 悦子



○ 現況を知り尽くした区長として、未来につながるべき新庁舎に望まれる機能について。

○ 駅に至近であり利便性の高い庁舎で、また災害時には非常に防災性の高い庁舎にしていかなければならない。江戸川区のシンボルとして、大きな未来が湧き出てくるようなイメージの庁舎にしていきたい。

○ 消費税10パーセントへの引き上げの対応について。また、円滑に実施されるよう区内中小事業者への支援策についての考えは。

○ 国の動向を見極めながら関係団体と連携し、きめ細かく周知を図る。あわせて融資や相談等区の制度の支援も適切に行いたい。

○ 国際アンデルセン賞を受賞された角野栄子さんに対し、区としてどのように表彰されるか。また、業績を長く留めるための施設とは、どのように考えているのか。

○ 区民栄誉賞の江戸川区第1号となり、記念すべき式典として表彰式を行う。あわせて、角野さんのお話を直接聞けるようなことを企画している。施設については、現在、角野さんと相談中である。

○ 災害時には避難所となる区立小・中学校体育館への冷暖房設備の整備について、どの

ように進めていくのか。

○ 改築校については、設計の段階から冷暖房の整備を前提に、その他の学校についても、できるだけ早く全校に設置できるよう設計や期間の検討を進めていく。

○ 小学校の英語教育について、2020年の新学習指導要領の本格実施に向け、その前年となる来年度はどのような取り組みをするのか。また、外国語指導助手ALTの拡充も必要であり、その人材確保はどのように進めるのか。

○ 来年度から全面実施を行う。そのために研修や意見交換会など教員の指導力向上のための取り組みを進める。ALTの人材確保は、関係機関に積極的に働きかけ、ふさわしい人材を確保できるよう努める。

○ 高齢化社会を迎えるにあたり、バス交通不便地域に、コミュニティバスの早期導入を。



#### コミュニティバス早期導入について

○ 現在、事業者の方々と共同研究を進めており、早く具体化できるよう研究を進めたい。

○ 葛西南部地域の諸課題について。

①優先して整備すべき路線として位置付けられている放射16号線とその都県橋について。

②東西線葛西駅、西葛西駅について、利便性向上のため快速電車の全停車を。

③東西線葛西駅、西葛西駅のホームドアの設置について、早急に設置を。

④葛西区民館について、築43年となり老朽化しているため、建て替えを。

⑤葛西駅地下駐輪場のエレベーター設置について、今一度研究を。

⑥葛西駅前広場のイルミネーション装飾について、華やかに装飾し地域活性化に繋げては。

⑦総合リクリエーション公園の北側にバリアフリー対策として、スロープの設置を。

⑧東葛西8丁目のまちづくりについて、安全なまちへと推進するための考えは。

○ ①東京都サイドでは優先整備路線となっているが、千葉県サイドではそうっていない。粘り強く関係機関に働きかけていく。

②③両駅とも乗降客10万人を超える駅のため、1日も早い快速線の全停車、ホームドアの整備を引き続き要請していく。

④まず新庁舎建設があり、それに関連して区民館の位置、内容を検討していかねばならない。この課題解消に向け努力していく。

⑤当面は入出庫の際、地上部でお預かりやお返しするサポートをしっかり取り組む。エレベーター設置は、引き続き研究していきたい。

⑥商店街等の賑わいという面から重要であり、関係部署で連携し検討を進めたい。

⑦北側の道路に面する入口にスロープがないため、早く設置できるよう公園を再整備する。

⑧12月19日に第1回の準備会を開催し、これを契機に協議会を立ち上げ、地元とともにまちづくりを積極的に取り組みたい。



### 学校教育・LGBTへの支援 ・グリーフケアについて

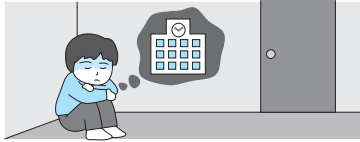


えどがわ区民の会  
小野塚 あやか



不登校児童・生徒は、増加傾向である。この不登校支援について。

- ①出席日数の取り扱い等、不登校児童・生徒への支援や対応を取りまとめたガイドラインの作成を。
- ②不登校児童・生徒について、総合的にどのような支援が可能かを考えることも必要であり、官民一体となって幅広い支援を。



#### 不登校支援について

①現在、不登校対策委員会において、具体的な支援方法や取り扱いの根拠等の資料を作成しているところである。

②学校サポート教室やスクールソーシャルワーカーなど公の支援に加え、登校サポートボランティアや民間不登校特例校の活用など民間との連携も研究していく。

外部講師を使った出前講座等を通じて、専門家による性教育の場を広げることも必要と考えるが。

産婦人科医等の外部講師の活用について、専門性を活かした指導の必要性を踏まえ、今後、検討していく。

生徒自らが将来を前向きに設計していけるよう、中学2年生に昔の元服にあたる儀式の立志式を行うことについて。

チャレンジ・ザ・ドリーム等の取り組みや道徳の時間を通して、自身の将来像、向上について考える活動を行っている。他の自治体での実践事例等も踏まえ、研究していく。

性的マイノリティの方について、差別のない社会環境を実現するために、区役所内での理解促進は欠かすことはできない。このような方々への支援の更なる拡充について。

現在、性的志向・性自認に関する対応のガイドラインを策定中である。区の手続上、パートナー関係の確認が必要となる場合を想定し、庁内で情報共有できる仕組み等を検討していきたい。

愛する人やペットを死別で失うと、人は心に大きな傷を負うが、この傷を癒すためのサポートをグリーフケアというが、このグリーフケアの普及啓発への取り組みについて。

区の福祉や健康の窓口で行っている相談等では、この考えを取り入れて行っており、啓発事業も行っている。今後も実践の中で、更なる普及のための研究をしていきたい。

### 国保料軽減、学童おやつ復活、保育の質と安全確保を



日本共産党  
小俣 のり子



児童相談所開設に関連して。

- ①社会的養護が求められる子どもたちについて、都区間で調整機能が必要だが、都との協議の

具体的な方向性は。

②新生児訪問は、ハガキの返信がなくても出産した全ての家庭に専門家が訪問すること。

③保育施設での保育の質を担保できるよう区独自の指針を持つことと、指導・検査・監査を年に1度行うべきと考えるが。

①各区と都が並立する児童相談所と連携をどうとるか、都が設置者及び広域行政の立場からどう関与するか、現在、協議を進めている。

②妊婦全数面接の実施により必要な支援の見極めができており、支援が必要な家庭には、専門職の訪問等も重層的に行っている。

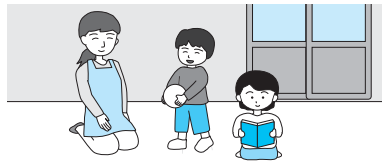
③区独自の保育の指針については、法令や条例等に厳格に定められており、作成する予定はない。検査等については、回数を増やすなど、更なる強化を図っていく。

すくすくスクール学童登録の保育の充実について。

①猛暑時、小1が下校中倒れた。子どもの育ちに欠かせない補食の提供は元通りに復活を。

②保育時間を延長し、保育環境を整えるべき。

③非常勤職員を正規採用し、職員増員を。



#### すくすくスクール学童登録の 保育の充実について

①保護者責任による持ち込みを引き続き実施していく。

②長時間、学校内で過ごすことは、心身への影響も危惧され、子ども自身の健全育成に繋がるとは言えず、見直しは考えていない。

③非常勤職員に力を発揮してもらいながら、スキルアップを図り、地域の力を借りながら運営していく。

国民健康保険料負担軽減について。

①全国知事会などが要求し、均等割をなくすための1兆円の公費負担についての考えは。

②都内で最も高い保険料となっている繰入削減計画などの見直しと乳幼児医療費無償のペナルティ廃止の財源を活用し、多子世帯の子どもの均等割保険料の減免制度の実施を。

①必要であれば、1兆円といわずもっと負担していただきたいと思っている。

②財政状況等を考慮した江戸川区独自の削減計画を採ったのであり、計画を変更する予定はない。減免制度についても、対応は考えていない。

### 江戸川区独自の不妊治療助成 制度の早期実現を求む!



江戸川クラブ  
岩田 まさかず



東京オリンピック・パラリンピック開催に向け、受動喫煙防止が喫緊の課題となっている。また2012年に「江戸川区歩行喫煙及びポイ捨ての防止に関する条例」を制定以後、様々な取り組みをすすめているところだが、実態は解決されているとはいえない。たばこ税を受動喫煙防止対策及び歩行喫煙・たばこのポイ捨て対策に充てるべきと考えるが、この問題に対する考えは。

受動喫煙、たばこのポイ捨て問題も早く

根絶したいが、社会全体がそのように動く必要がある。区民の自覚を呼びかけ、地域の運動として高まっていくよう努力する。

障害者差別解消法が2016年に施行された。この法律の趣旨である、不当な差別的取り扱いと合理的配慮の不提供をなくすために専門の相談窓口が設置されることは前提だが、より良い方向に調整されるため専門の紛争解決のための相談窓口や条例の制定が必要だと考えるが。

このような差別は根絶していかなければならないが、住民すべてが自覚を持たなければならない。ポイ捨てと似ており、どのように徹底していくかということに尽きる。

2016年に障害者総合支援法が改正され、医療的ケア児の支援体制の整備が盛り込まれたが、現実問題として介護する保護者の負担が変わることはない。医療的ケアの必要な重度心身障害児とその保護者支援について、訪問看護師の派遣・レスパイト事業の更なる拡充と短期入所施設を含め入所施設の整備などの対策が緊急に必要と考えるが。

行政施策の中でよりよく実現できるよう研究していく必要があり、できるだけ早く実現できるよう努力していきたい。

不妊症の検査や不妊治療を受けたことがあるカップルは6組に1組といわれるなか、妊娠を希望するカップルの支援について。

①男性側・女性側両方に原因の可能性のある不妊治療について、気軽に相談できる場や心のケアにどう対応していくのか。

②不妊治療を少子化対策の重要施策として位置づけ、早期の区独自の助成制度の実現を。



#### 妊娠を希望する カップルの 支援について

①相談窓口については、健康サポートセンターや都においても行われている。

②必要性をよく検討し、できれば早く実現できるよう努力していきたい。

## 一般質問

### 福祉の充実、公共交通の整備、 地域産業の活性化を!



自由民主党  
栗原 ゆたか



友好都市である鶴岡市との更なる連携について。

①鶴岡市にはラムサール条約に登録された大山上池・下池に周囲の山並みの眺望や野鳥の観察ができる自然交流館「ほとりあ」がある。江戸川区にもラムサール条約に登録された葛西海浜公園にこのような自然交流館を建設し、野鳥等とのふれあいや学習の場を設けては。

②鶴岡市は農業が盛んであるが、学校給食におけるJA鶴岡からの鶴岡産米の納入は減少している。友好都市である鶴岡市との連携を深めるため、学校給食でのJA鶴岡からの鶴岡産米の納入を増やすことが望ましいと考えるが、また、区の文化施設でも鶴岡産米を使うことを

検討しては。

③木材が用いられた学校施設は、自然を感じることができ、子どもたちの学習環境においても魅力的である。豊富な森林を有する鶴岡市の地域材を、今後、建設予定の学校施設に、より積極的に用いては。

④ ①ラムサール条約の登録地が鶴岡市にあるが、今回、江戸川区でも葛西海浜公園が登録されたので、このことを共有し、新たな局面での交流を考えていきたい。

②学校給食において、JA 鶴岡からの購入は減っているが、区内の小売店からの購入が増えており、鶴岡産米の購入量は、全体では以前より増えている。金額が一般より少し高いという側面はあるが、今後も鶴岡産米の購入をしていきたい。

③学校改築時に木材の使用を進め、その中で鶴岡産などの国産材の活用も図りたい。

④ 介護人材不足は全国的にも叫ばれているが、区の介護人材確保策の更なる取り組みについての考えは。また、増加する社会保障費を抑制するため、介護予防の更なる取り組みについて。

⑤ 介護職員の人材確保については、処遇改善が一番大きな人材確保につながると考えている。各助成制度、セミナーを通じて取り組みを強化していく。介護予防については、リズム運動等の生きがい施策が大切であり、地域の力を借りながら今後も取り組んでいく。

⑥ 公共交通機関の整備について。

①区内の南北交通はバスに頼っており、交通網は強化されている。しかしオリンピック・パラリンピック開催に向けて、更なる利便性の向上を検討する必要があると考えるが。

②バス交通の不便な地域にコミュニティバスの早期導入を。

③ ①オリンピック・パラリンピックの開催に向けて、南北交通の強化は重要な課題と認識している。南北交通の利便性向上のため、シャトルセブン等の増便をバス事業者へ要請していく。

②バス交通の充実が重要な課題であり、バス事業者と共同で研究を進め、実現に向けて取り組んでいく。

④ 地域経済牽引事業による波及効果を含め地域経済を活性化するための取り組みについて。また、業種により人手不足が顕著であるが、区内企業の採用関連施策を更に推進するための取り組みについて。

⑤ 地域産業の活性化について、従来型の施策とあわせて今回の新たな基本計画に基づく施策も展開し、区内産業の活性化に取り組んでいく。人手不足問題についても関係機関や学校との連携を保ち、各種施策を実施してきた。IOTの導入等先端設備の導入促進を奨励するなど積極的に対応していきたい。

### 小松川平井地域の未来を見据えた展望を!



公明党  
太田 きみひろ



⑥ 防災計画を策定する意義や重要性などを周知すべきと考えるが。また、住民が主体的に地区防災計画を策定するために、どのような支援を行うのか、その取り組みについて。

⑦ 各小・中学校を拠点とした避難所運営協議会を通じて周知を図り、それぞれの熟度に応じて計画の策定に繋げたい。

⑧ 内水面の氾濫対策について、見直しを含め、今後の具体的な取り組みは。また、止水板の活用を推進すべきと考えるが。

⑨ 雨水桝の上のカーステップの取り外し、土のうの効果的な積み方、止水板の活用など自助共助の取り組みを今後、啓発していく。

⑩ 食品ロス削減に向けてフードドライブの推進について、本庁舎1階の展示スペースで定期的な実施を。また、回収場所を常設設置すべきでは。さらに提供先について区がコーディネーター的な役割を担っては。

⑪ 来年度、区役所の展示スペースで8月と12月に実施する予定である。常設回収については、更なる回収場所の拡大に向け検討する。提供先については、関連部署の情報を収集しながら、よりよい連携の方策を検討する。

⑫ 救急時の新たな取り組みについて、事故や災害の際に応急手当をするために救急キット(FA)を設置することの普及啓発や取り組みについての考えは。

⑬ 互助共助の仕組みと捉えており、こうした助け合いの考え方や仕組みは大切である。救急時等の考え方として研究していきたい。

⑭ 公共トイレのユニバーサルデザインについて、オスメイトの方も通常トイレを利用できるよう前広便座の導入を。また、2020東京オリンピック・パラリンピック大会に向けてユニバーサルデザインを更に進める必要があると思うが、今後の方針は。

⑮ 前広便座については、当事者の方々の意見等を踏まえながら有効性を研究していく。ユニバーサルデザインの推進と誰もが心地よく使える手洗所の整備拡充に今後も取り組む。

⑯ 来年度から導入となる中学校での特別支援教室をどのように進めてくのか、具体的な取り組みと方向性について。

⑰ 今年度中に巡回指導マニュアルを策定し、教室の整備も行う。来年6月には教員すべてを対象として説明会を実施する。今後も研修を通し、教員の理解を深めるとともに巡回指導員と他の教員の連携を図る。

⑱ 小松川・平井地域の将来像について。

①平井駅北口駅前広場について、再開発事業にあわせてリニューアルを。

②平井二丁目付近地区の防災まちづくりについて、「不燃化特区・都市防災不燃化促進事業」「密集住宅市街地整備促進事業」を今後、どのように進めていくのか。

③地域内の公共施設の今後の展望について、小松川第一中学校が完成するまでにあと3年となり、本格的に地域内の公共施設の再編・建て替えについて検討すべきと考えるが。

④ ①地元の皆さんの意見を聞きながら、研究していきたい。

②不燃化特区の事業期間が平成32年度までであり、それを節目として都と区で連携しながら、スピード感を持って防災まちづくりに努めていきたい。

③区民の利便性、地域の賑わいを考慮しながら将来を見据えて必要な施設のあり方を区議会、地域の皆さんと検討していきたい。

### 樫中央会館前に信号機を。町会・自治会の法人化へ。



えどがわ区民の会  
神尾 てるあき



④ AEDの推進について。

①AEDが適切に利用されれば多くの命を救えるが、区はその設置状況について、どのように把握し区民に周知しているか。

②AEDの使用により命を救えるかは、時間との勝負である。よって、AEDの設置場所を即座に検索できる体制の構築を提案するが。

③ ①設置状況は日本救急医療財団が集約する仕組みになっており、そのホームページから区は把握している。区施設の設置状況は区のホームページのマップから周知している。

②区内だけでなく区外等広域的な仕組みとして、設置状況を把握している日本救急医療財団が取り組むことが一番いいと考えている。

④ 江戸川区民まつりの模擬店について、区の福祉やコミュニティ形成、地域の活性化に尽力している団体が、毎年、出店しているが、更に楽しいイベントにするために、出店団体の新規参入枠を設けるべきと考えるが。

⑤ 地域福祉の増進、コミュニティ形成のために活動している団体に店を出していただいているが、会場がいっぱいであるため、新規参入枠を設けることなく申し出があれば丁寧に対応していきたい。

⑥ 町会・自治会の法人化について。

①町会・自治会の会館の土地・建物の登記の名義が会長等の場合が多く、トラブルに発展する場合もある。町会・自治会に法人格を認めることが有効であるが、どのような状況か。

②法人化の推進に向けた考えは。

③ ①現在、町会・自治会数は277、法人格を有しているのは32、相談中が1である。

②地域活動の安定化、相続の際のトラブル回避のためにも望ましいので、継続して周知し、できる限りの支援を行っていく。

④ 樫中央会館前の横断歩道について、地域から危険な横断歩道として信号機の設置を望む声が以前からある。この要望について、今後、どのように手続きを進めていくのか。

⑤ 区が道路管理者として現場を詳細に確認し、交通管理者の警察と協議、実査を行うという流れになる。本件についても小松川警察と協議調整していきたい。その他にも様々な交通安全対策に努めていく。

### パートナーシップ制度実施を!スーパー堤防は中止を!



日本共産党  
牧野 けんじ



⑥ LGBT、性的マイノリティと人権について。

①国会議員による「LGBTは生産性がない」という主張について、区長の見解は。

② LGBTの課題に十分対応できる相談先の周知を。また、「コミュニティスペース」について行政と当事者団体との協働で実施を。

③パートナーシップ制度の実施を。

④ ①人権について、どう考えているのか疑念を抱かせる発言だったと思う。

②区のホームページ等でわかりやすく周知して

いきたい。コミュニティスペースについては、現在、その考えはないが、LGBT 団体の活動を尊重し、区民の理解を深めていく。

③ガイドラインを作成し区内で情報共有する仕組みを検討していきたい。

■ スーパー堤防とまちづくり事業について。

①北小岩一丁目東部地区で、コンクリート片が見つかった問題を公にしてこなかった理由は、対策工事が行われなかった宅地の地中には埋まっていないか。住民への説明は。

②上篠崎一丁目北部地区の地区計画について、その範囲が決まるのはいつか、見通しを。

③地盤強度不足を招いた同じ工法を進める国を区は容認するのか。また、更なる費用負担を求められた場合、区はどう対応するのか。

◎ ①コンクリート片は、国が適切に撤去した。地中障害物の有無に関わらず機能上の問題はないと国から報告を受けており、地権者からの問い合わせにはしっかり対応していく。

②地元町会の皆さんと相談するための準備を進めている。概ね1年程度の時間をかけ、話し合いをしていきたい。

③費用負担はもとより、国としての役割をしっかりと果たすよう申し入れをしている。

地域企業との連携について  
どのように考えるか?



江戸川クラブ  
ます 秀行



■ 地域企業との連携について、企業には自社の業務に限らず、地域発展の一翼を担う側面もある。自治体にとって、企業の接し方が重要な意義を持つが、特段の指針を定めることなく、

その都度状況に応じた対応がなされている。区と企業の両者が協力体制を構築することが地域の発展に寄与するが、この連携の在り方について、どう考えるか。

◎ 江戸川区政の中で、しっかりとした企業との連携をもとに、優れた地域の創造のためにお互い力を出し合い努力してきたと思っている。これは普遍のことであり、これからもその姿勢で臨んでいく。

■ 学校改築事業において、入札を区内業者育成ということで区内業者を優先にしても単独で応札する可能性は極めて低い。企業は競争原理にさらされてこそ成長するものということを前提に区外業者にも積極的に開放すべきだと思うが、区内業者を優先する制度が育成につながったことを示す根拠は。

◎ これまで多くの事業を発注し、適正に成果をあげていただいたこと自体が育成であったと思っている。

■ 公共施設と寄付の関係について、今後、区では、本庁舎をはじめ様々な公共施設が更新の時期を迎える。その費用は、区の財政負担を考慮すれば、少しでも抑えたいところである。そこで、こうした公共施設の整備を税金に頼らず、対象を当該施設の整備に限定したうえで寄付を募る制度を設けては。

◎ 開発行為における負担は制度化されており、寄付に置き換えられない。

子どもの権利と障害者の  
地域での暮らしについて



生活者ネットワーク  
本西 みつえ



■ 子どもの権利について。

①児童相談所は「生きる・育つ・参加する・守られる」という「子どもの権利」に基づいた運営が進められるべき。

②区が子どもの最善の利益を中心に据えている姿勢を示し、子どもも含めた全ての市民に「子どもの権利」が心に刻まれるよう「子どもの権利条例」の制定を。

◎ ①当然のことであり、何の異論もない。②条例の有無に関わらず基本的な理念であるため、これを心に命じ施策を進める。

■ 障害者が地域で暮らすことについて。

①障害者が安心して暮らせる制度や施設の議論のための部会設置を地域自立支援協議会に。

②グループホーム開設への専門相談窓口を。

③重度障害者に対応できるグループホームを区として整備することが必要と考えるが。

◎ ①地域の支えに期待することは当然であるが、やりとおす信念を持ちそのような社会の構築を目指しお互いが努力するべきである。部会の設置は協議会と相談する。

②グループホームコーディネーターを配置し、様々な助言を行っている。

③グループホームコーディネーターを活用し、事業者の意見を聞きながら、他のグループホームと同じように整備を行う。



議員から提出された議案

—意見書は各関係機関に送付しました—

○固定資産税及び都市計画税の減免措置の継続に関する意見書

〔東京都知事 あて〕

小規模住宅用地の都市計画税を2分の1に軽減、小規模非住宅用地の固定資産税・都市計画税を2割減額、商業地等の固定資産税・都市計画税について負担水準の上限を65%とする措置の31年度以降の継続を東京都に求める。

○Society 5.0時代に向けた学校教育環境の整備を求める意見書

〔内閣総理大臣、総務大臣、文部科学大臣、経済産業大臣 あて〕

Society 5.0の時代は、これまで以上に人間が中心の社会であり、人間としての強みを活かして一人一人の多様な関心や能力を引き出すことが求められる。そのためには、ICT等の活用による新たな教育の展開が不可欠であるが、学校教育現場におけるICT環境の実態は、生徒全員に十分にEdTechを活用するのは困難なため、地方財政措置について、自治体においてICT環境整備に向けられるよう周知徹底するとともに、より使い勝手の良い制度にし、一層の拡充を行うことなどを国に求める。

平成31年第1回定例会開催予定

- 2月19日(火) …… 本会議(議案上程、委員会付託)
- 21日(木) …… 本会議(一般質問)
- 22日(金) …… 本会議(一般質問)
- 26・27日 } 予算特別委員会
- 3月 1・4・5・7・8・12日 } 予算特別委員会
- 13日(水) …… 常任委員会(議案審査)

- 14日(木) …… 各常任委員会(請願・陳情等の審査)
- 26日(火) …… 本会議(委員会報告及び表決)

※本会議は午後1時、各委員会は午前10時開会予定です。  
※傍聴は、本会議は開会日当日の正午以降、各委員会は開会日当日の午前8時30分以降に区役所西棟3階の区議会事務局で先着順に受付しています。なお、定員がありますので詳しくは区議会事務局までお問い合わせください。

# 目で見る江戸川区議会の1年間



## 2月

第1回定例会において  
予算特別委員会を開催し、  
平成30年度の予算を審査しました。

## 5月

オーストラリアのセントラルコースト市  
市長訪問団が区議会を表敬訪問しました。



## 5月

臨時会が開催され、  
委員会のメンバーが変更になりました。



## 7月

江戸川区総合防災訓練では、  
情報収集訓練や参集訓練を  
行いました。

## 10月



第3回定例会で決算特別委員会が開催され、  
平成29年度の予算が適正に執行されたかを  
審査しました。



## 11月

第4回定例会の初日に議場コンサートを開催し、  
たくさんの方に鑑賞していただきました。

# 江戸川区議会会派等別議員一覧

氏名	連絡先	住所	電話番号	議席番号
電	話	番	回	数
当	選			

【◎幹事長 ☆団長 □幹事長代行 ○副幹事長 △幹事】

【会派内の役職・議席番号順】

**区議会 自由民主党**  
14人  
直通(5662)5111  
<http://edogawa-jimin.jp/>

◎福本みつひろ 東葛西8-7-33 3877-0541 ④	○須賀精二 江戸川2-8-1 3679-8373 ⑥	○大西洋平 篠崎町2-1-10-305 5664-2024 ②	△渡部正明 松島4-20-13 3653-9346 ⑦	△栗原ゆたか 中央3-5-2 3674-6025 ②	野崎まこと 西葛西6-8-13-2F 3869-8125 ①	中山たかひと 西瑞江3-36-4 3677-0072 ②
斉藤まさたか 北小岩8-24-6 3672-5849 ③	田中寿一 船堀3-1-3 5679-0413 ③	高木ひでたか 一之江5-7-17 5661-4608 ④	ふじさわ進一 南小岩6-28-11 3658-0783 ④	早川和江 松本1-10-6 5678-0777 ④	島村和成 平井5-51-12 3617-3471 ⑦	田島すすむ 鹿骨4-21-2 3670-7716 ⑦

**江戸川区議会 公明党**  
13人  
直通(5662)5112  
<http://www.e-komei.com/>

☆川瀬やすのり 江戸川1-21-23 5636-5530 ⑤	◎竹内すすむ 松江3-14-19 3652-6798 ⑤	□中道たかし 大杉1-1-1-703 5607-0835 ③	○うざわ悦子 東葛西6-10-18-701 3686-7461 ④	○堀江そういち 西小岩2-17-1-603 3658-8597 ③	○所たかひろ 新堀1-13-7 3670-0334 ②	佐々木ゆういち 北葛西5-4-15 5605-9262 ②
竹平ちはる 東小岩1-14-6 5876-7376 ②	太田さしみひろ 平井6-32-2 6657-2641 ②	くぼた龍一 中葛西2-26-10-1005 3686-1939 ③	関根まみ子 一之江7-11-25 3869-0978 ③	伊藤てる子 中葛西5-2-7-309 6903-7742 ③	田中じゅん子 上篠崎3-10-11 6638-7465 ⑤	

**えどがわ区民の会**  
5人  
直通(5662)5116

◎えぞえ亮一 南篠崎町5-12-2-803 3677-6622 ③	○金井しげる 南小岩3-15-20 6657-9897 ②	△中里省三 松江3-12-3 6312-1486 ③	△神尾てるあき 春江町3-32-3 5243-8311 ①	△小野塚あやか 西葛西4-3-30-15-701 080-9817-8869 ①

**日本共産党 江戸川区議員団**  
5人  
直通(5662)5113  
<http://jcp-edogawa.com/>

◎小俣のり子 中央2-7-5 3655-4422 ④	○大橋みえ子 中葛西8-6-2 5674-3753 ②	△セバタ勇 平井2-17-3 3637-4050 ⑨	牧野けんじ 東小岩3-13-9 6331-1791 ①	須田哲二 篠崎町5-14-10-1003 3677-2616 ④

**江戸川クラブ**  
4人  
直通(5662)0074

◎笹本ひさし 北小岩6-16-1-2F 5668-2636 ③	○中津川まさあき 南篠崎町1-22-2 3678-1660 ②	△岩田まさかず 上篠崎3-9-13 3679-3223 ①	ます秀行 南葛西4-21-3-402 6662-7890 ②

**生活者ネットワーク**  
2人  
直通(5662)2752  
<http://edogawa.seikatsusha.me/>

◎伊藤ひとみ 中葛西3-17-4-702 3675-9220 ①	○本西みつえ 東小松川3-35-13-205 5607-5975 ①

**無所属**  
直通  
(5662)1993

須賀清次 東葛西4-27-13 3688-7001 ⑤

**区議会だより編集委員会**  
(◎委員長 ○副委員長)

◎福本 みつひろ	○竹内 すすむ
笹本 ひさし	えぞえ 亮一
小俣 のり子	

